

医療従事者の負担軽減及び処遇改善に資する計画

2021年3月策定

1 勤務医（医師）の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

① 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

項目	目標達成年次	具体的な取り組み内容
外来初診時選定療養費の実施	継続取組	外来診療に対する負担を軽減するため、初診時選定療養費を導入し、疾病初期段階の患者や明らかに軽症と判断される患者を当院受診から地域の近隣医療機関の受診へ促すような説明を実施。
初診時の問診の実施	継続取組	初診にて来院された患者さんに対して総合受付にて看護師を配置し、診察前に問診を実施することで適切な診療科への案内を行う。
静脈採血等の実施	継続取組	生体検査検体取得のための静脈採血等は、事前のオーダーがある場合、看護師が実施。
入院の説明の実施	継続取組	入退院サポートセンターを設置し、入院前の準備段階から入院中の生活はもちろんのこと、入院中に行われる治療の説明、入院前の服薬状況の確認、早期の退院促進に向けた働
検査手順の説明実施	継続取組	検査前の説明を医師だけでなく、検査項目パンフレット等を利用し看護師による説明を行い患者さんの安心・安全・適切な検査が実施できるような環境を整え、身体的・精神的な不安の解消に努める。
薬の説明や服薬の指導	継続取組	全病棟に担当薬剤師を配置し、病棟薬剤業務としてハイリスク薬の投与前説明、退院時薬剤的管理指導ならびに医師の依頼に基づき薬剤管理指導を実施。
検査技師によるエコー検査の実施	継続取組	専門的な知識と技術を修得した生理担当の検査技師がエコー検査を担当することにより、医師の受け持つエコー対象患者数の減少を図っている。 今後更にエコー検査の実施可能な技師を養成予定。
医師事務作業補助者の配置	継続取組	医師事務作業補助者を配置し、医師の指示のもと診断書などの文書作成補助、診療記録への代行入力、医療の質の向上に資する事務作業、並びに行政上の業務を行う。
チーム医療の促進	継続取組	看護師の知識と技術を向上させることにより、医師との業務分担を更に推進すると共に、栄養士や薬剤師・検査技師・放射線技師、臨床工学技士等の医療技術部門においてもその活動範囲を拡大することにより、常勤医の負担軽減を図る。
院内処方箋における疑義照会適正化プロトコル	継続取組	院内処方箋についてプロトコルを作成し、薬剤部で対応できるものについては対応し、医師へ報告することで医師の負担軽減を図る。
情報通信機器を活用した業務効率化・省力化の推進	2021年度	ポケットク/AIファーム/電子カルテ端末のカメラ機能の活用/タブレット面会/AI問診の導入及び活用の体制整備を図る。
医師事務作業補助者の配置と育成	2021年度	医師事務作業補助者を配置・育成し、医師の指示のもと診断書などの文書作成補助、診療記録への代行入力、医療の質の向上に資する事務作業、並びに行政上の業務を行い、医師の業務負担軽減を図る。

② 医師の勤務体制等にかかる取組

項目	目標達成年次	具体的な取り組み内容
勤務計画、連続当直を行わない勤務体制の実施	継続取組	2夜連続での当直割り振りは行わない。
当直翌日の業務内容に対する配慮	継続取組	深夜業務に対する休日の確保体制。
非常勤医師の活用	継続取組	救急センター及び透析センターにおける勤務については、院内常勤医の他に他医療機関からの非常勤医を交えてそのローテーションを組むことにより、常勤医の負担を軽減中である。
夜間当直業務の軽減	継続取組	夜間帯を準夜宿直と深夜宿直に分け、内科系と外科系医師の二人体制とする。 小児科は別に対応する。
短時間勤務の導入	継続取組	子育て中の医師の負担軽減として、育児短時間勤務を導入中。

2 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

① 看護師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

項目	目標達成年次	具体的な取組み内容
入院患者の持参薬確認業務等の分担	継続取組	病棟薬剤師の導入による持参薬確認業務等の分担を行う。
採血業務の分担	継続取組	外来における検査に必要な採血業務を、臨床検査技師も一緒に担う。
医療機器の管理分担	継続取組	医療機器の管理を臨床工学技士が行う。
クレークの配置	継続取組	各病棟・外来にクレークを配置することで、病棟・外来における様々な事務的業務を実施。
夜勤減免制度の導入	継続取組	小学校始期に達するまでの子のある職員は深夜勤務及び時間外勤務を制限可能とする。
短時間勤務の導入	継続取組	子育て中の看護師の負担軽減として、育児短時間勤務を導入中。
クレークの増員	2021年度	クレークの増員と配置について体制を整える。
採血室の増員	2021年度	採血業務の分担について、採血室に採血人員とは別に業務サポートの人員として午前中に1名増員予定（臨床検査科より）

② 看護師の勤務体制等にかかる取組

項目	目標達成年次	具体的な取組み内容
2交代の夜勤に係る配慮	2021年度	・勤務後の暦日の休日の確保 ・仮眠2時間を含む休憩時間の確保 ・16時間未満となる夜勤時間の設定
11時間以上の勤務間隔の確保	継続取組	
夜勤の連続回数が2連続（2回）まで	継続取組	
暦日の休日の確保	継続取組	
早出・遅出等の柔軟な勤務体制の工夫	継続取組	
夜間を含めた各部署の業務量の把握・調整するシステムの構築	2021年度	システムは未導入だが、看護体制の統一化を図る。
看護補助業務のうち50%以上が療養生活上の世話	継続取組	
看護補助者の夜間配置	検討中	業務量を洗い出し、今後検討していく。
みなしを除いた看護補助者比率50%以上	継続取組	
ICT、AI、IoT等の活用による業務負担軽減	検討中	情報通信機器を活用した業務効率化・省力化の推進の状況を考慮する。

※★4項目以上で看護職員夜間配置加算算定可能

3 その他

項目	目標達成年次	具体的な取組み内容
職員のメンタルヘルスを支援する体制を整える	継続取組	「こころの相談窓口」の設置。
ハラスメントに適切に対処する組織をつくる	継続取組	ハラスメントに対処する組織活動の継続。※要規程見直し。
職員が利用できるフィットネスルーム、トレーニングルーム等の確保	2021年度	昼休み時間等のリハビリ室の職員への開放を予定。
管理職等の職員の意識改革	2021年度	内部統制研修会の実施。